

1. 件 名：近畿大学原子力研究所の原子力事業者防災業務計画の見直しについて

2. 日 時：令和3年7月16日 17:00～17:10

3. 場 所：原子力規制庁3階 緊急事案対策室会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

川崎企画調整官、平野室長補佐

(以下、テレビ会議システムによる出席)

近畿大学原子力研究所

講師

5. 要 旨

近畿大学原子力研究所から、令和3年7月14日に発生した落雷に伴う原子炉制御室等に関する異常（AL51）による警戒事態を振り返り、防災業務計画に定める現行のEALについては、リスクが小さいという当該施設の特徴を踏まえると、見直す必要性があると認識しており、検討を進めていきたいとの申し出があった。

原子力規制庁より、現行のEALは、他の原子力施設を参考として、前広に定めたものと理解しており、検討においては、近畿大学原子力研究所の施設の特徴、原子力緊急事態への進展の可能性などを考慮するよう伝えた。また、適宜、行政相談に応じる旨伝えた。

近畿大学原子力研究所から、本日の面談を踏まえて対応するとの回答があった。

6. その他

配布資料：なし